

2015年度事業報告

I 事業概況

【0】基本方針・重点課題と成果

1. 昨年度に引き続き、諸事業の改善・推進を図った。特に広報活動強化、ウェブページ刷新、青年層の育成・支援強化に取り組み、それぞれ進捗を得た。
2. 世界エスペラント協会の“Jaro Montevideo 60” (JM60) キャンペーン (1954年のユネスコ・モンテビデオ総会でのエスペラントを支持する決議60周年記念) に呼応した活動を行った。フランス・リールでの第100回世界エスペラント大会、仙台での第102回日本エスペラント大会を成功させるべく協力、注力した。
3. 上記の活動を通じて国内でのエスペラント普及に努力した。しかし、会員増はなかった。

【1】エスペラント普及事業 (担当：普及推進部)

【1. 1】事業の方針と成果

国内外のエスペラント組織、本会会員との連携を強化し、協働の輪を広げ、エスペラント運動の発展を図った。第102回日本エスペラント大会 (宮城県仙台市) の開催を機に、特に東北でのエスペラントの普及に力を入れた。また、広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動に努めた。

【1. 2】エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握に努めた。『エスペラント運動年鑑2014』をLa Revuo Orienta (RO) 誌4月号号外として発行した (【4.2】参照)。今後の運動年鑑の編集、発表方法についての見直し検討の結果、簡略化を図り継続発行することとした。『エスペラント運動年鑑2015』のための情報提供を受け、2016年度のRO誌4月号大特集として発行する。
2. 各エスペラント団体との関係をより緊密にした。
 - (1) 「エスペラント会連携推進委員会」を4月に発足し、日本大会中に「エスペラント会懇談会」を開催した。またメーリングリストを活用し、情報の共有、経験交流を行った。
 - (2) 地方エスペラント大会 (7大会) に理事長挨拶を送った。5大会に理事が参加した。
3. 会員の拡大・定着：団体会員+1 (62団体)、個人会員-33 (1116人)。電子版会員が7人、支援会員が4人増加した。(個人会員は2016年初、前年同時期との比較)
4. 小坂賞：江川治邦氏への授賞を決め、日本エスペラント大会で授与した。

【1. 3】エスペラント広報事業

1. 広報委員会の会合を4回開いた (5、7、9、2016年2月、スカイプも利用)。
2. 本会のウェブページ、フェイスブック、ツイッター等のウェブ活用により、一般およびエスペランティストにエスペラントに関する各種の情報提供を行った。
3. ニュースリリース「エスペラントの今」の発行：7月に第3号「ボーイスカウトとエスペラント」、10月に第4号「アジアの私たちをつなぐことばエスペラント」、2016年3月に第5号「国際エスペラント相撲3月場所、まもなく開始」を発行し、マスコミ各社に配布した。
4. 初回のエスペラント紹介動画コンクール：応募作品2点。審査の結果、最優秀賞はなし、2点は奨励賞となり、第102回日本エスペラント大会で表彰した。
5. Jaro Montevideo 60に関する活動：第102回日本エスペラント大会で公開講演会を行った (講演者：仙台ユネスコ協会 中島美樹子事務局長、和歌山緑丘会 江川治邦氏、当会理事長)

(【6.2】4.参照)。また、当会理事長、事務局次長が公益社団法人日本ユネスコ協会連盟を訪問し、情報交換した(12月)。

7. 広報材料の拡充。

(1) JEI紹介の三つ折りチラシを作成し、10月に発行し、会員に配布した。

(2) 広報委員会内の冊子チームで、広報冊子『エスペラントへの招待』の改定版の編集を進めた。

8. 展示会：10月3～4日にグローバルフェスタ2015(東京 お台場)に出展した。

【2】 エスペラントを用いた国際交流事業(担当：国際部)

【2. 1】 事業の方針と成果

国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会(Universala Esperanto-Asocio = UEA)の日本における国別代表組織として推進し、UEAのアジア運動委員会(Komisiono pri Azia Esperanto-Movado = KAEM)と協働した。また、日本のエスペランティストが行う国際的なエスペラント活動を支援し、外国のエスペランティストに日本の各種行事への参加を促した。

【2. 2】 国際交流事業

1. 国際的なエスペラント大会への参加し、また協力した。青年層へ「青年エスペランティスト国際行動支援金」制度の活用を積極的に呼びかけた。

(1) UEAのStrategia Forumo pri Orientazia Movado(東アジアのエスペラント運動戦略フォーラム、4月20日、中国の杭州市)に、日本から当会理事長とKAEM副委員長が出席した。

(2) 第100回世界エスペラント大会(フランス/リール、7月25日～8月1日)に対して、参加旅行団を実施し、38人が参加した。Movada Foiro(運動フェア)に出展し、Libroj de la jaro(新刊本の紹介コーナー)で本会の出版物2冊の紹介を行った。またUEA-A委員2人がUEA委員会に出席した。記念すべき大会のため芸術番組に寄付を行った(2014年度に500ユーロ=72,702円)。

(3) 第102回日本エスペラント大会中の関連行事-アジア活動分科会、UEA-delegito(都市別代表)分科会、Pasporta Servo(国際的な無料宿泊サービス)分科会を開催した。東アジア4カ国の代表組織に同大会への招待状を送り、韓国・ベトナムから来訪した。

(4) 青年エスペランティスト国際行動支援金の供与：5人に計39万5千円。

2. 4月のネパール地震に対し、ネパール震災救援募金を行い、集まった約100万円をネパールエスペラント協会(NEspA)及びその2支部、ネパール赤十字に送った。

3. 国際文通サービス：17件を仲介した。

4. UEA-delegitoにつき、RO誌上で不在地域の名乗りを呼びかけた。応諾はなし。

【3】 エスペラント研究教育事業(担当：研究教育部)

【3. 1】 事業の方針と成果

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成および指導力強化、エスペラント入門のための教材提供、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組んだ。

2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組んだ。

3. 八ヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用、運営し、内外のエスペランティストおよ

び一般に開かれた施設として有効利用した。

【3. 2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会として、第48回エスペラントセミナーを5月3～5日に山形県天童市で開催した。33人参加、5クラス。
2. 講師養成講座を2月11日、エスペラント会館にて実施した。白井裕之氏の「実演から”盗む”教え方、学び方」に26人参加。
3. 各種試験
 - (1) エスペラント学力検定試験は、5月に天童市で1人、枚方市で1人、10月に仙台市で5人が受験した。
 - (2) Komuna Eŭropa Referenckadro に基づく試験 (KER試験) を5月30日、エスペラント会館で実施した。5人受験。
4. エスペラント学力検定試験の過去問を9月に当会ウェブページに追加公開した。
5. 講師認定制度については、規程の改訂、認定の基準作りには至らなかった。
6. 学校でのエスペラント授業支援については、高校2校の本会への訪問学習を受け入れた。
7. 『ドリル式エスペラント入門』で、あらたに「その2」の音声版を当会ウェブページに公開した。
8. 文芸コンクールへの作品を募集し、計8点の応募があった。原作部門の入賞者なし、翻訳部門では1位なし、2位1人、3位2人の入賞が決まり、日本エスペラント大会で授賞した。
9. 今後のエスペラント教育の体制作りについては、本格的な検討までには至らなかった。

【3. 3】八ヶ岳エスペラント館における事業

1. 4月11日に開館し、11月12日に閉館した。延べ利用者数463人(運営委員を含む)。
2. 2016年度に向けて宿泊寄付金体系の見直しを行った。
3. 第17回エスペラント漬け合宿(NEK)を、8月22～24日に実施した。15人参加。
4. 「八ヶ岳エスペラント館の日」の行事を、9月11～13日に実施した。10人参加。
5. 運営委員の増員に努め、3人の候補者を得た。
6. 館内外の整備に努め、記念植樹をし、展示を更新した。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業 (担当：編集部)

【4. 1】事業の方針と成果

雑誌『エスペラント／La Revuo Orienta』(RO誌)を原則として毎月発行し、エスペラントの普及発展に資した。

【4. 2】雑誌刊行事業

1. RO誌を毎月(9月以外)刊行した(電子版、音声版を含めて)。発行部数1400部(年度当初)。
2. 他部門と連携し、号外や大特集号を発行した：4月号外(エスペラント運動年鑑2014)、1月号大特集(第102回日本エスペラント大会報告書)。
3. 拡大編集会議を2016年1月9日に実施した。
4. 表紙絵を会員から募集し、2016年1月号から2人の写真を交互に採用することとした(本年12月号まで)

【5】 エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

【5. 1】 事業の方針と成果

エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。また、内外のエスペラント図書の販売を行い、雑誌購読を取次いだ。

【5. 2】 図書刊行事業

1. 図書の発行

- (1) 藤巻謙一著『はじめてのエスペラント』（改訂版 CD付）を5月に発行した。
- (2) 後藤斉著『人物でたどるエスペラント文化史』を第102回日本エスペラント大会の記念本として10月に発行した。
- (3) 後藤斉編『Esperantistaj voĉoj el la katastrofo 2011 — 東日本大震災から：エスペラントの声』を上記と同様に記念本として10月に発行した。
- (4) 後藤斉著『単語力から総合的な語学力へ —エスペラント応用語彙論—』を10月に発行した。
- (5) エロシェンコ生誕125周年記念事業実行委員会発行の『Vivis・Vojaĝis・Verkis —生きた・旅した・書いた』を10月に発売した。

2. 今後の出版物の計画

『日本語エスペラント辞典』の改定作業準備会を行い（2016年2月7日）、新日本語エスペラント辞典編集委員会を組織した。委員は後藤斉（主幹）、他7人。

【5. 3】 図書頒布事業

エスペラント書籍、雑誌の販売、取次を行った。出張販売を1回（日本エスペラント大会）、委託販売を3回行った。

【6】 エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6. 1】 事業の方針と成果

2015年の日本エスペラント大会を開催し、大会を継続して開催する体制の整備を進めた。

【6. 2】 日本エスペラント大会主催事業

1. 第102回日本エスペラント大会（宮城県仙台市、10月10日～12日）

- (1) 仙台エスペラント会と共同主催した。大会テーマは「災厄の向こうの希望」"Espero trans la katastrofo"。
- (2) 407人が参加した。実参加は258人、外国からの実参加は12人であった。この内、国際部からの招待は2人。
- (3) 国際部の招待とは別に、大会としてインドネシアおよびネパールから青年を招待した。それぞれ、インドネシアの津波、ネパール大震災に関する講演を行った。
- (4) その他 公開講演会のチラシ、ポスターを作製し、市内各所へ配った。Jaro Montevideo 60に関連して、ユネスコ関連の公開講演会を持った（【1.3】5.参照）。被災地を訪問する大会後観光（12～13日）を実施した。また、藤井省三教授による公開講演「魯迅とエロシェンコ」を行った。Azia Junularo分科会にて国内外の青年層の交流の機会があった。

2. 第103回日本エスペラント大会（滋賀県近江八幡市2016年10月8～10日）

近江エスペラント会と共同主催し、ヴォーリズ学園で開催する準備を進め、6月に大会実行委員会を発足させた。大会第1報を第102回大会で配布した。大会第2報を2016年3月に発行した。

3. 2017年の第104回日本エスペラント大会を横浜市で、NPO法人エスペラントよこはまと共同主催することを決めた。

【6. 3】大会開催に関する事務の合理化・標準化

チェックリストを作成し、順次改善してきた。ウェブ書庫を試作した。

【7】その他事業及び法人の管理

【7. 1】事業の方針と成果

会員の活動を支援し、本会の事業を円滑に進めるため関連事業部門と連携、諸事業を行った。また前年に引続き、新財団の管理方法確立に取り組んだ。

【7. 2】総務部担当事項

1. 総務部の職務を事務局および関連委員会と協働して実行した。
2. 財務部とともに隔月に事務局会議を開き、緊急な課題に対応した。
3. 図書館関連事業を、ボランティアの協力を得て推進した。月に1回、図書を整理し、寄贈された図書は保存用、貸出図書、販売用古本に分けた。
4. 図書カタログ発行について検討し、3年に一度の発行と決めた。次回発行は2017年度の予定。また、「エスペラントの日」記念公開講演会（次項5参照）に合わせて古本市を行うなど、図書販売促進を図った。
5. 6月12日の「エスペラントの日」に対応して、第6回記念公開講演会を開催した。田中克彦氏とビル・マク氏による2講演を行い、83人が参加した。
6. 第100回世界エスペラント大会（フランス）へ向けて参加旅行団を企画、実施し、38人が参加した（【2.2】1. (2) 参照）。
7. 新財団移行に伴う規程類の改定をほぼ終了、規程類をまとめて、評議員、理事、監事、協議員に配付した。

【7. 3】財務部担当事項

1. 堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支えた。

【7. 4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、エスペラント会懇談会のウェブサイトにて、エスペラントやその活動の広報、会員への情報公開サービスを行った。
2. ウェブページ作成会社に委託し、本会ウェブサイトの刷新を行い、2016年3月に日本語版ウェブサイトを公開した。

II 庶務事項

1. 会議の開催

- (1) 評議員会：6月21日
- (2) 理事会：5月24日、2016年3月20日
- (3) 業務執行理事会：9月6日、2016年1月17日
- (4) 副理事長会：4月30日、7月10日、11月13日、2016年2月12日
- (5) 監査：5月23日
- (6) 協議員会：5月24日、2016年1月17日
- (7) 会員総会：10月11日、仙台の日本エスペラント大会会場内

2. 会員：1177（2016年1月12日現在 1116、団体会員61）

3. 役員・職員等の人事

- (1) 事務局長：石野良夫より福田政則に交代／2016年3月21日就任。
- (2) 理事監事具申選挙（協議員による）：2016年3月1日告示
- (3) 評議員選定委員：新たに5人が決定された（2016年1月、外部委員は川田明良、谷川弘。評議員から小林洋子、監事から鎌倉忍、事務局から石野良夫）。任期2019年12月末まで。

以上